

第62次 技術教育・家庭科教育全国研究大会

主催：産業教育研究連盟 後援：大東文化大学・東京都教育委員会

<http://www.sankyoren.com>

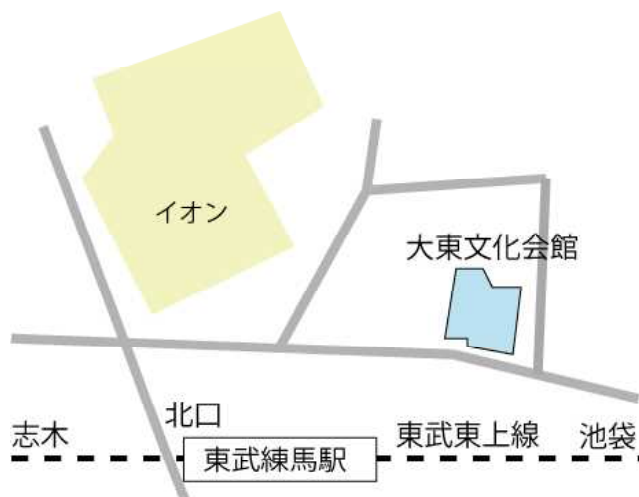
大会テーマ 「巧みな手、科学する頭、人と人を結ぶ心を育む技術教育・家庭科教育」

研究の柱

- 1、今の技術教育・家庭科教育の問題点について情報交換し、今後どのように進めていくべきかを幅広い立場から検討します。
- 2、学習指導要領の内容を実践的に検討しながら、教科のなかで子どもに真につけさせたい力を探ります。
- 3、子どもをひきつける教材についてさまざまな角度から検討し、魅力ある授業の内容と方法を探ります。

日程 2013年8月4日(日)～6日(火)

会場 大東文化大学 大東文化会館
東武東上線・東武練馬駅下車徒歩3分
池袋駅より各駅停車で15分
* 急行などは停車しません。
〒175-0083 東京都板橋区
徳丸2丁目4番21号
TEL：03-5399-7038 / Fax:03-5399-7857



日程・時程

日 時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
8/4(日)	受付	「授業をつくる」分科会 ①②			昼食	全体会	講演		教材教具 発表会	連盟 総会	
8/5(月)	受付	「授業をつくる分科会」 ③④			昼食	実践講座①	実技コーナー「匠塾」			交流会 ～19:30	
8/6(火)		教科教育・教育課程を 考える討論会	全体会	(昼食)	見学会 トプコン						

* 準備の都合上、交流会と見学会は、大会参加申込の際、予め参加の有無を記入して下さい。

産業教育研究連盟（略称 産教連）は

技術教育・家庭科教育に関わりある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。ホームページ <http://www.sankyoren.com> で日常の活動を公開しています。

「授業をつくる」分科会

教材の魅力と授業の展開のおもしろさを探求する分科会です。教材準備、展開、生徒の受けとめかた、その対応など、ときには実技も交えながら討論していきます。メインレポートを中心としながら関連するレポートもあわせて討議します。

①ちょっとした工夫で輝く生物育成の授業 4日(日) 9:30～12:30

「生物育成」の授業でお悩みではありませんか？生物育成に恵まれた環境の学校がある反面、「耕地がない」、「プランターを置くスペースがない」、「授業中大勢の生徒が耕地に移動するとクレームがある」など悩みを抱えている方も多いことでしょう。

この分科会では、生物育成の授業をわくわくさせるための工夫、授業スタイルのあり方、校内でどのように教職員の協力をとりつけるかなど、意見交換をします。そして、産教連で以前から議論されている食と農の実践のあり方について討論します。

②加工（木材、金属、布など）の授業 4日(日) 9:30～12:30

「A 材料と加工に関する技術」ではどんな指導をしていますか。「これだけは身につけさせたい」指導者の視点や工夫、指導者として身につけておくべき材料や道具・機械の知識や技能などを検討します。

地域特産の材料や釘 1本の仕組み・鋸・玄翁など材料や工具の指導を大切に、理論と結びついた学習をさせたいものです。プリント1枚の理論や実践報告も歓迎です。

③電気・機械・情報の授業 5日(月) 9:30～12:30

学習指導要領では「エネルギー変換」とひとくりにされている電気、機械などの工学的な分野は技術教育として大事な分野です。産教連では技術・科学の原理をいかした教材の仕組みの探求を重視してきました。生産技術について理解を広げるための基礎・基本とは何か、何をどこまでどのように指導するかを検討します。情報の学習では、これまで、ともするとコンピュータ操作スキル向上やマナー指導に傾きがちでしたが、必修となった計測・制御について何をどのように指導するか検討します。

④どうつくる家庭科の授業 5日(月) 9:30～12:30

家庭分野は「衣生活」「食生活」「住生活」「家族」「消費生活」と広く、生活の技術よりも生活の知識のほうが重視された教育課程になっています。「住生活」や「家族」「消費生活」などは実習、演習がしづらく、知識中心の講義式の授業になりがちです。授業の進め方に悩んでいる方も多いかと思います。

この分科会では、模擬授業的演習を含んで立体的な学びをどのようにつくるか提案していきます。家庭科の授業で困っていることを解決していくために討論していきます。

講演 これからの「環境とエネルギー」 4日(日) 14:30～16:00

講師 あおやまていいち 青山貞一 東京都市大学名誉教授 早稲田大学理工学部非常勤講師
東京都市大学環境情報学部非常勤講師

環境政策論、公共政策論を専門に、国際的視野をもちながら環境問題の現場に積極的に関わる活動をしている。これまで川崎市環境基本条例・環境基本計画など地方自治体の20以上の条例制定、計画策定に従事するなどアセス制度、環境管理制度、大気汚染規制、ダイオキシン規制などの政策や立法で行政府、立法府を支援してきた。さらに第三者的立場から主要環境公害裁判に証人として出廷もしてきた。おもな著書・訳書



- ・「環境を守り育てる技術」(共著、ぎょうせい 1994)
- ・「新・台所からの地球環境」(著者代表、ぎょうせい 1998)
- ・「小エネ住宅奮戦記」(はる書房 1983)
- ・「環境問題への誘い」(共著、学文社 2000)
- ・「コリンノーマン著、持続可能社会への展望」(共訳、学陽書房 1982) など多数。

教材教具発表会 4日(日)16:15～17:30

手づくりの教材や教具の発表会です。実習題材、演示教具、視聴覚教材など多様なものを持ち寄っての発表です。ぜひとおきの教材教具をご持参ください。常時展示コーナーも有り。

実践講座 5日(月)13:30～14:40

- ◆肌に触れる綿布、その糸を作る手業と道具と機械を実物や DVD を見ながらたどります。技術と家庭科および総合などで展開できる内容の講座です。(実践講座①担当者:藤木勝 東京学芸大学 非常勤講師)
- ◆家庭にある電気器具一つから宇宙ロケットにいたるまで上手な半田付けが支えています。半田・半田付けの理論を学び技を身につける講座です。(実践講座②担当者:太洋電機産業株式会社)

実技コーナー「匠塾」 5日(月)15:00～17:30

授業にすぐに活かせる教材・教具を作ります。「授業をつくる分科会」の関連の実技的な内容も扱います。時間いっぱいかけてつくるものや2つ3つと取り組んで授業のネタや材料をいろいろ仕入れることもできます。①～⑥は出店予定。当日持ち込み出店歓迎。写真は昨年製作風景と作品。 ③

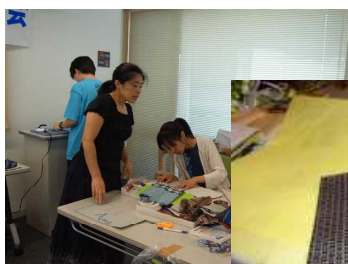
- ①半田ごての手入れと半田付け実習
- ②パソコン利用で何でも表示できる LED
- ③延長コード製作指導のいろいろ
- ④木製テープカッター New バージョン
- ⑤手縫いですぐできるティッシュケースやブックカバー
- ⑥タオルでつくるミニぬいぐるみ



④

⑤

⑥



夕食・交流会 5日(月)18:00～19:30

外に出て夕食をとりながらの交流会です。分科会では話せなかったことや体験・愚痴など老若男女が気楽に語ります。そこから思いもよらぬ発想、展開が浮かぶかも知れません。事前申し込みをお願いします。

教科教育・教育課程を考える討論会 6日(火) 9:30～11:45

基調提案や分科会討議を活かし、教科教育や教育課程づくり、日々の授業改善や評価問題などを全員で考える討論会です。少ない予算と時間数、専任不在校の増加など厳しい条件もありますが、この場でのレポート発表も含めながら、各地・各校の状況や取り組みも出し合い、討論します。

見学会 トプコン 6日(火) 13:30～

長年にわたって培ってきた光学技術や GPS 技術をもとに、各種の検査・測定機器を開発・製造しているメーカーです。それらの技術開発に関わる話を聞き、見学する予定です。

レポート発表（提案）・匠塾出店・教材教具発表される方へのお願い

誰でも自由に発表し、討論に参加できます。実践報告、教材や教具の発表、テスト問題など多様な提案や資料提供をお願いします。資料は80部用意して下さい。できるだけ事前送付をお願いします。

レポートや教材教具など荷物の送付は、**8月3日午後2時～4時の配達時間帯指定で大東文化会館気付け「産教連大会実行委員会」宛て**をお願いします。（会館事務室では受け取りできないため、実行委員が直接受け取ります。）レポート発表等を希望されるかたは、下記実行委員会に希望分科会とテーマを7月31日までにお知らせ下さい。

問い合わせ先	大会実行委員会 亀山 俊平 〒195-0061 東京都町田市鶴川4-2 8-5 TEL 042-734-5052 kame@mbj.ocn.ne.jp
--------	---

- その他
- 1、キャンセルまたは変更の場合は、必ず、事務局(大会会計)の野本までご連絡下さい。
 - 2、キャンセルの時、参加費の返金は、資料の発送をもって代えさせていただきます。
 - 3、申し込みをされた方の氏名・住所などの個人情報、産業教育研究連盟(産教連)の活動以外には一切使用いたしません。

参加費	全日程参加 4000円(会員3000円、学生2000円) / 1日だけの参加 3000円(会員2000円) 夕食交流会参加費3000円(飲み物代は別) ※夕食交流会は事前予約が必要ですので、交流会参加希望者は、 参加費+3000円となります。 ・宿泊が必要な方は各々手配をお願いします。(池袋周辺・東武東上線沿線が便利です) ・昼食については、会場周辺に飲食店、店舗があります。
------------	--

申込 産教連 webページ <http://www.sankyoren.com> から申し込みの上、参加費等を下記口座にお振り込みください。
または、下記の参加申込書を事務局へ郵送のうえ、お振り込み下さい。

振込先 三菱東京UFJ銀行 こうほく 港北ニュータウン支店 普通0605258 さんきょうれん 「産教連 全国研究大会」
申込期日 7月31日まで (大会当日も受付けます)
事務局 野本勇 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-37-21
TEL 045-942-0930

第62次 技術教育・家庭科教育全国研究大会参加申込書

氏名	〒	住所

連絡先の電話	()	e-mail:

所属(勤務先)		

◆ あてはまる項目に○印をつけてください。

参加日:	8/4(日)	8/5(月)	8/6(火)	参加費:	一般	会員	学生	(円)
性別:	男	女		交流会:	参加	不参加		(円)
							振込金合計	(円)

◆見学会 参加 不参加

◆参加予定の分科会:「授業をつくる」分科会 ① ② ③ ④